

ウシオの今と未来をお伝えする

P R I S M

## 第51期中間報告書

[2013年4月1日～2013年9月30日]

2013年11月発行

株主・  
投資家の  
皆さまへ

光のものがたり  
光って、何だ？



### CONTENTS

- |             |                   |          |
|-------------|-------------------|----------|
| 2 光のものがたり   | 10 第51期第2四半期の事業概況 | 14 株式の状況 |
| 6 株主の皆さまへ   | 11 グループトピックス      | 15 会社概要  |
| 8 セグメント別の概況 | 12 連結決算           |          |

50  
Thank you  
50th Anniversary

USHIO

ウシオ電機株式会社

# 光って、何だ？

毎号「光で〇〇する」と題して、光の不思議な機能や用途をご紹介している「光のものがたり」。今回は50周年準備号として、知っているようで知らない「光そのもののお話」をお送りします。さて”光って何？”と聞かれたら、皆さんは何と答えますか？

## とにかくスゴイ、太陽光

「光」といえば、私たちは即座に太陽をイメージしますよね。太陽が放つ光には、明るく感じる光だけではなく、目に見えない光も含まれていて、そのエネルギー総量は、1秒あたり $3.85 \times 1,026 \text{J}$  (ジュール)といわれています。とい

てもピンときませんね。たとえば、日本の総電気量の5,830兆倍以上となり、とにかく、すごいエネルギー量なのです。



## 光と電波は仲間

スマートフォンやテレビの音声や画像は、電波という一種のエネルギー波によって送られてきます。静かな水面に石を投げると波紋が広がっていきませんが、それを横から見ると、図1-Aのイメージになります。電波も、これと同じように空气中を伝わっていくのです。

この時のひとつのパターンが「波長」で、波長が1秒間に何パターン伝わるかが「周波数」です。波長が短ければ周波数は高く、波長が長ければ周波数は低くなります。

そして、この電波よりも波長が短いのが光です。光とテレビや携帯電話の電波は仲間のようなもので、これらを総

称して「電磁波」と呼んでいます(図2)。ちなみに、レントゲンで有名なX線も電磁波の一種です(図2 電磁波の例)。

図1 波長と周波数

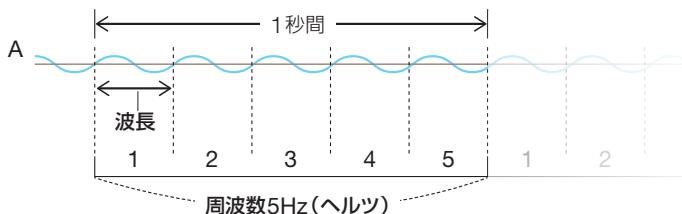




図2 電磁波の例



### 波長の違いで虹は七色、見えない「光」も。

太陽光は時として、赤・橙・黄・緑・青・藍・紫の虹となって姿を現します。この美しい七色は、実は波長の違いで決まっています。たとえば、最も長い赤色の波長は約700nm、一番短い紫色は約400nmです。人間の眼はおよそ380～780nmの波長の光を識別できることから、図2に示すよう

に、この範囲を「視ることが可能な光=可視光」と呼んでいます。それより外側の波長である「紫外線」「赤外線」は人間の目には見えませんが、紫外線～可視光～赤外線までを「光」と呼んでいます。

## 光は「エネルギー」

40℃のお風呂が平気なのに、それより低い30℃の気温でもヤケドのように真っ赤に日焼けしてしまうのは、なぜでしょう。それは、熱ではなく紫外線のしわざです。

光には「粒」と「波」の性質があり、波長が短い紫外線は物質表面に強力なエネルギーを与える「粒」として、波長が長い赤外線は物質内部に浸透する「波」としての性質が強く作用します。

この性質によって、① 紫外線は「化学エネルギー」として、② 赤外線は「熱エネルギー」として活用することができるのです。

日焼けは、紫外線が持つ光の粒が皮膚にあたることで、皮膚の細胞を変化させる現象なんですね。

### エネルギーにもいろいろ

エネルギーとはいったい何でしょう？ それは「仕事をすることができる能力」で、「仕事をする」とは「力を出してものを動かしたりする」と思ってよさそうです。飛んでいるボールは「運動」の、ストーブは「熱」の、ステレオは「音」のエネルギーを出すものです。生活に欠かせない「電気」もエネルギーです。しかも、これらのエネルギーはお互いに姿を変えることができるため、ウシオのランプは、電気を光に、あるいは熱に変えて利用されています。逆に、太陽電池は光を電気に変えているのです。

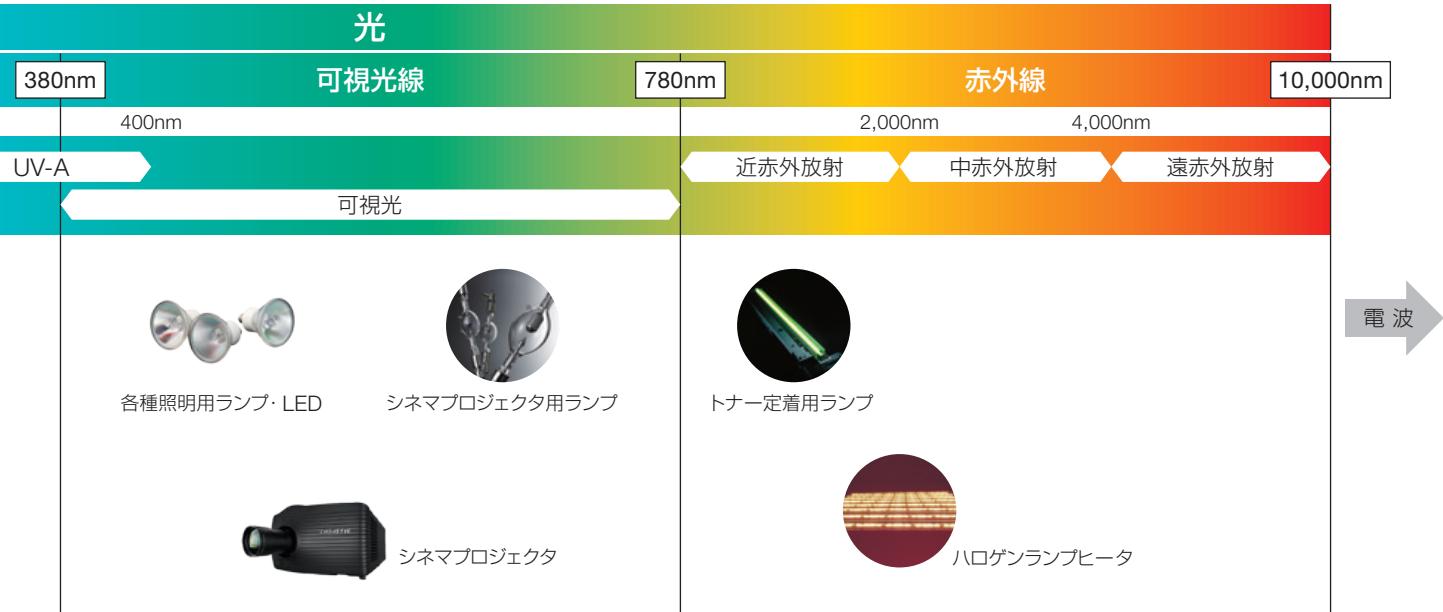


図3 光の波長範囲と主なウシオ製品



### ① 紫外線を「化学エネルギー」として

日焼けのように、モノにあてるとあたかも高熱を与えたのと同じような反応を起こすことができるのが紫外線です。エネルギーの強さは波長に反比例するため、可視光より波長が短い紫外線のエネルギーを熱に換算すると、なんと数万℃に匹敵します。紫外線を利用すれば、熱を使わなくても、光重合や光分解などの化学反応をたやすくやってくる、いいかえれば紫外線は「冷たいエネルギー」なのです。



## ② 赤外線を「熱エネルギー」として

石油ストーブは消火してもしばらく温かいのに、赤外線ヒータは切ってしまうととたんに寒くなります。なぜでしょう？

石油ストーブは途中にある空気を徐々に暖め、いわゆる「伝導」「対流」によって私たちに熱を伝えてきます。これに対し、赤外線の場合、空気の温度と関係なく、直接、対象となるものを暖めることができます。

これは「放射」といわれ、ちょうど太陽の陽射しが暖かいのと同じ原理です。赤外線は水分に吸収されやすいため、人体にあたると皮膚のすぐ下で吸収されます。吸収された赤外線は体内の物質が持つ分子の振動を活発にすることで物質の温度を上げるため、「熱い」「暖かい」と感じるのです。

## ウシオの「光」

光を、熱エネルギー、光化学エネルギーとして利用し、新しい光市場を創造する — これは、ウシオが1964年の創立時に掲げた事業方針です。紫外線や赤外線という見えない光が持つさまざまなエネルギーを取り出し、コントロールすることで、たとえば「光で洗う」「光で固める」「光で治療する」など、産業界に無くてはならない光の用途を生み出してきた「光の専門メーカー」、それがウシオなのです。



株主の皆さまにおかれましては、  
ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
また、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
第51期中間(2013年9月)報告書「PRISM」をお届けし、  
当第2四半期連結累計期間のウシオグループの事業環境や  
各事業の概況、および今後の取り組みについて  
ご報告申し上げます。

### 売上高6.2%増、営業利益52.3%増の増収増益

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州経済は下げ止まったものの、中国の景気拡大は依然緩やかであり、米国も回復傾向にあるものの、全体的に不透明な状況にありました。国内経済は、政府が打ち出す政策に伴う円安や株式の好況などを背景に、個人消費や生産、輸出などが持ち直し傾向にあり、回復の兆しが見られました。

当社グループは、引き続き将来に向けた新技術・新製品の研究開発に積極的な投資を行なう一方、生産性の向上や製造コストの低減、経費の圧縮、海外展開強化に向けた生産・販売体制の整備・拡充、適地生産の促進等、全グループを挙げて業績の向上に注力しました。

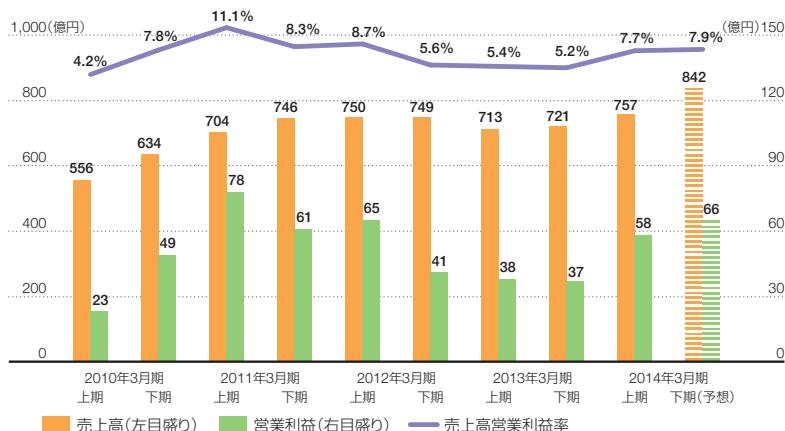
その結果、当期の業績は、売上高で前年同期比6.2%増の757億5千4百万円、営業利益で前年同期比52.3%増の58億4千5百万円、経常利益で前年同期比142.3%増の77億6千3百万円、四半期純利益で前年同期比295.9%増の51億5千8百万円の増収増益となりました。

### デジタルシネマプロジェクタ用クセノンランプが好調

当期は、装置事業、光源事業ともに前年同期比増収増益となりました。北米、日本をはじめとする映像先進国で、シネマプロジェクタのデジタル化は約80%完了しているものと思われ、販売の中心は新興国向けの小型で比較的低価格のデジタルシネマプロジェクタへと移行しています。一方当社は、デジタルシネマプロジェクタ用のランプの販売において70%のシェアを維持しており、当期の販売は過去最高の売上を更新しました。一般映像分野については、着実に受注を獲得し、順調に推移しました。

また、好調なスマートフォンやタブレット端末関連メーカを中心に、露光用UVランプのリプレイス需要は堅調に推移し、ハロゲンランプもOA関連を中心に販売は順調です。引き続き各種ランプの長寿命化、高輝度・高効率化等、製品開発を

## 半期業績推移



推進し、特に、固体光源(LED・LD)製品の研究開発を積極的に進めています。光学装置分野は、パソコンの需要低迷などから、一部で引き続き投資を抑制あるいは延期する動きも見られ、液晶・半導体、LED関連、その他電子部品関連の各種装置販売は低調に推移いたしました。

研究開発費については、EUV事業を日本へ集約したことから、EUV事業への開発投資は減少しましたが、今後の業績向上につながる新技術・新製品の研究開発投資を引き続き積極的に進めています。

## 当期の見通し

新興国向けのデジタルシネマプロジェクト「Solariaシリーズ」の出荷が好調であるため、デジタルシネマプロジェクトの販売台数は、通期でも前年並みとなる見込みです。今後もデジタルシネマプロジェクトの高シェアを維持し、クセノンランプの販売拡大につなげていく考えです。また、光配向などの液晶パネル用光学装置や「UXシリーズ」など露光装置の出

荷を確実に実行するとともに来期以降の販売につながる活動を一層推進していきます。これらによって、通期計画の売上高1,600億円、営業利益125億円達成を目指します。

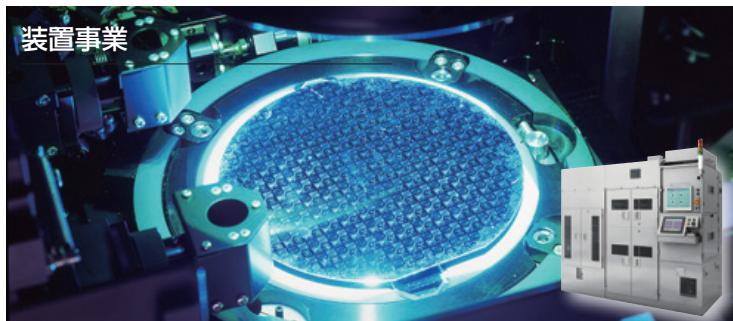
2014年4月1日、ウシオは設立50周年を迎えます。株主はじめ、顧客、取引先、地域社会、そして社員など多くの皆さまにいただいたご支援に対し、心より感謝申し上げます。当社ウェブサイトにも、50周年記念サイトを設けておりますので、ご高覧賜れば幸いです。

2013年11月

代表取締役社長・CEO

菅田史朗

# セグメント別の概況



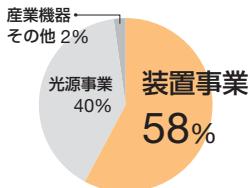
## 主な商品

露光装置、光硬化装置、光検査装置など光学装置  
デジタルシネマプロジェクタ、コントロールルーム、シミュレータ、デジタルサイネージ、バーチャルリアリティなど映像装置  
紫外線皮膚治療器、血液分析装置など医療機器  
検査・開発用EUV光源装置

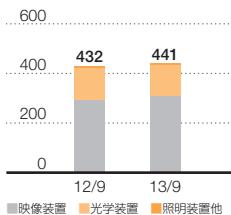
## 主要数値

### 売上高構成比

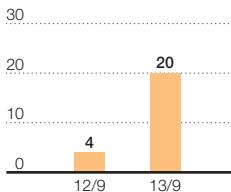
(2013年9月期)



### 売上高(億円)



### セグメント利益(億円)



## 当期の業績

先進国において、デジタルシネマプロジェクタの普及が相当程度進む一方で、ウシオは新興国市場をターゲットとした小型デジタルシネマプロジェクタ「Solariaシリーズ」を市場投入しました。従来のハイエンド機種に比べ新興国向け製品の単価は低く、売上高は減少したものの、市場ニーズを的確にとらえ、デジタルシネマプロジェクタ全体の販売台数は前年同期並みに推移しました。また、一般映像分野では着実に受注を獲得し、映像装置事業の業績は総じて堅調に推移しました。

光学装置分野は、パソコンの需要低迷などから、一部で引き続き投資を抑制あるいは延期する動きも見られ、液晶・半導体、LED関連、その他電子部品関連の各種装置販売は低調に推移しました。また、EUV事業を日本へ集約したことから、EUV事業への開発投資は減少しました。

その結果売上高は前年同期比2.1%増の441億5千2百万円、セグメント利益は前年同期比328.6%増の20億5千万円を計上しました。

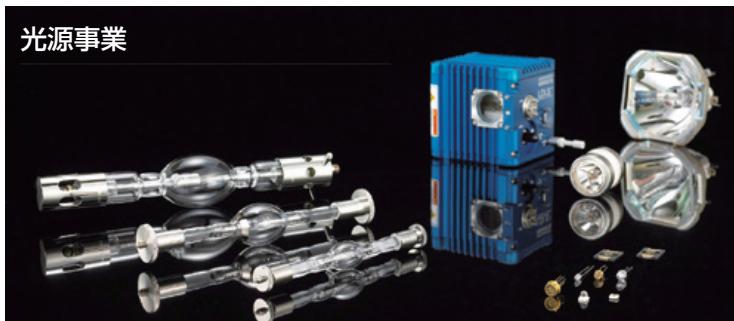
## 通期の見通し

映像装置分野では、「Solariaシリーズ」の出荷が順調に推移する見込みです。安定的な収益とデジタルシネマプロジェクタのシェアを確保し、クセノンランプの販売拡大につなげていきます。一般映像の市場は着実に拡大しており、引き続き成長する見通しです。

光学装置分野では、光配向など液晶パネル用光学装置および「UXシリーズ」など露光装置の出荷を確実に実行するとともに、来期以降の販売につながる受注活動を一層積極的に推進していきます。

※売上高には、内部売上高または振替高が含まれています。

## 光源事業



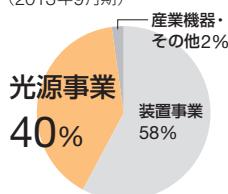
### 主な商品

半導体／FPD／プリント基板製造装置用UVランプ  
各種監視、生体認証、光センサ用LED  
照明用、データプロジェクタ用、シネマプロジェクタ用、OA機器用  
など各種ランプおよびLED

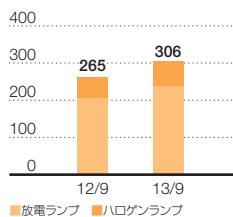
## 主要数値

### 売上高構成比

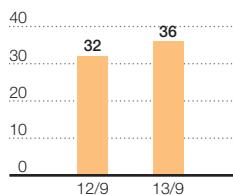
(2013年9月期)



### 売上高(億円)



### セグメント利益(億円)



## 当期の業績

放電ランプでは、デジタルシネマプロジェクタの普及に伴い、シネマプロジェクタ用クセノンランプの販売が引き続き拡大し、過去最高を更新しました。また、スマートフォンやタブレット端末の需要拡大は持続しており、液晶・半導体関連メーカーの設備稼働率も緩やかながら回復傾向にあることから、露光用UVランプのリプレイス需要は堅調に推移しました。

ハロゲンランプでは、OA関連を中心に販売は堅調に拡大しています。なお、引き続き各種ランプの長寿命化、高輝度・高効率化等、製品開発を推進し、特に、固体光源(LED・LD)製品の研究開発を積極的に進めています。

その結果、売上高は前年同期比15.4%増の306億4千9百万円、セグメント利益は前年同期比13.8%増の36億8千5百万円となりました。

## 通期の見通し

放電ランプでは、露光用UVランプに堅調なリプレイス需要が見込める一方、中国でのTV用液晶パネルの過剰在庫による稼働ダウンの懸念もあり、既存ユーザーでのシェアアップを確実に実行していきます。シネマ用クセノンランプは高信頼性を背景にシェアを維持・拡大の計画で、データプロジェクタ用ランプはシェアアップによる収益性向上を目指します。

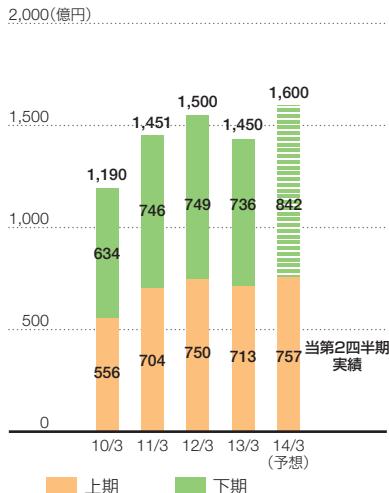
OA用ハロゲンランプは、高シェアを背景に、堅調に推移の見込みです。

※売上高には、内部売上高または振替高が含まれています。

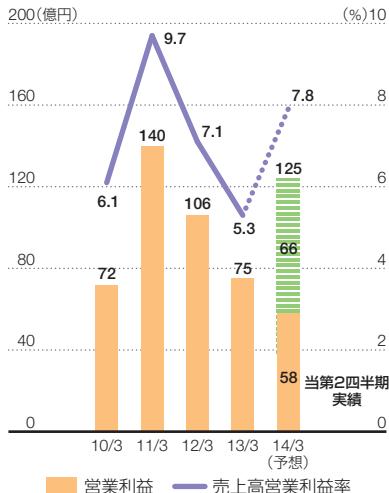
# 第51期第2四半期の事業概況

## 数字で見るウシオ (連結ベース)

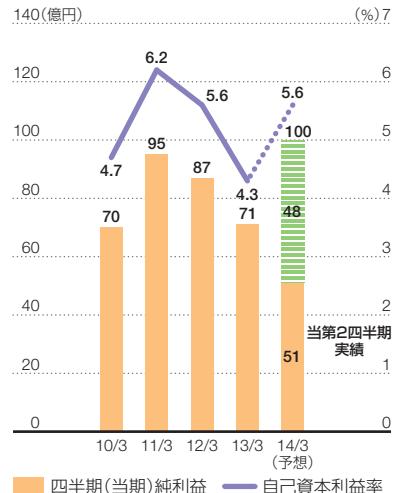
### 売上高



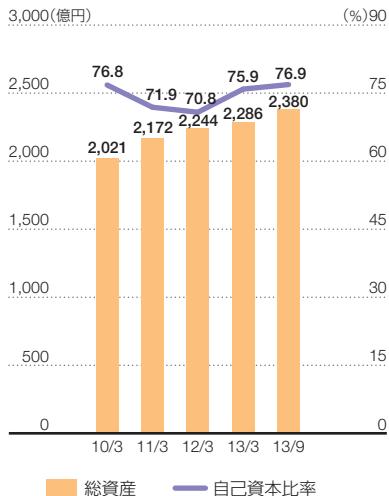
### 営業利益/売上高営業利益率



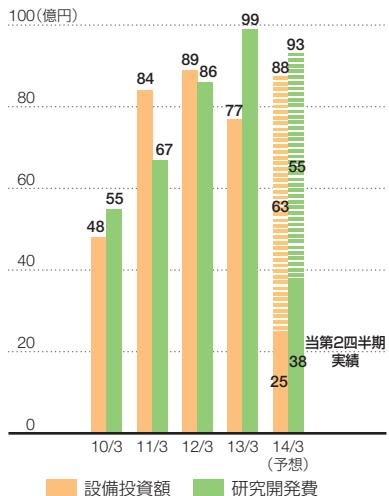
### 四半期(当期)純利益/自己資本利益率(ROE)



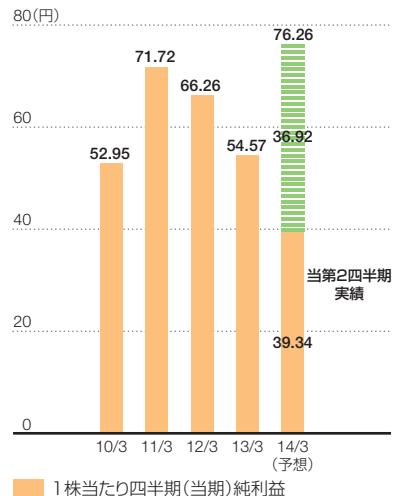
### 総資産/自己資本比率



### 設備投資額/研究開発費



### 1株当たり四半期(当期)純利益



※数字はすべての表示数未満の位を切り捨てて記載しております。



## アドテックエンジニアリングが、富士フィルムから直描式露光装置事業を譲受

アドテックエンジニアリングは、2013年11月に富士フィルム株式会社とプリント配線板向け直描式露光装置の設計・販売・保守に関する事業の譲渡契約を締結しました。

近年露光装置市場において、直描式露光装置の市場が著しく拡大しています。これは、スマートフォンやタブレット端末などの急速な市場拡大に伴い、プリント配線板等にも、高精度と高い生産性の両立が要求されていることが背景にあります。

アドテックエンジニアリングは、本件の事業譲受により、従来からの海外顧客への販売に加えて、国内顧客に対する販売および製造、ならびに露光エンジンの開発、製造まで行なうことになり、収益性の向上を実現するとともに顧客ニーズへの迅速な対応が可能となります。



## 世界初、VR向けの4Kプロジェクタを今秋発売

クリスティは、2013年秋より、世界初(2013年6月現在)の4K解像度120Hz対応3-chip DLP® 3Dアクティブステレオ対応プロジェクタの販売を開始しました。

4K解像度をもつプロジェクターでありながらフレームレート120Hz(1秒間に120枚の映像を描き出す)での3D表示に対応。

これにより、1台で3D映像が表示できるようになっただけでなく、動きの激しい動画やスピード感のある動画をより滑らかに、よりリアルに表現することが可能となりました。

クリスティは、この「世界最速」の映像表示技術によって、主に設計・製造、デザイン、解析、各種シミュレーション等の分野の躍進を後押ししてまいります。



## 世界初、常温かつ無触媒でNOxを分解できる「VUV直接脱硝」技術を開発



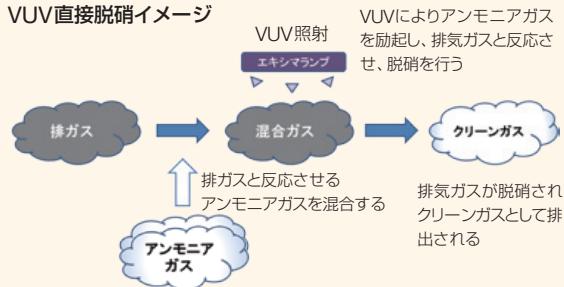
ウシオ電機は、岐阜大学および(株)アクリーと共同で、世界で初めて、排ガスに含まれる大気汚染物質のNOx(窒素酸化物)を、常温かつ無触媒で脱硝できる「VUV(真空紫外線)直接脱硝」技術を開発しました。

脱硝とは、船舶、火力発電所、ゴミ焼却場などからの排出ガスに含まれる大気汚染物質であるNOxを、無害な窒素や水蒸気に分解する技術で、排出規制の強化を受け、環境保全や省エネルギーの観点から非常に注目されています。

今回開発した「VUV直接脱硝」技術を用いれば、従来の脱硝法では適用できなかった条件下でも脱硝することが可能になります。

ウシオは、本技術の早期実用化・製品化を目指していきます。

### VUV直接脱硝イメージ



## 貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	第51期第2四半期 (2013.9.30)	第50期 (2013.3.31)	科目	第51期第2四半期 (2013.9.30)	第50期 (2013.3.31)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	142,493	140,646	流動負債	36,805	37,950
現金及び預金	42,551	42,136	支払手形及び買掛金	13,987	16,610
受取手形及び売掛金	35,059	34,565	短期借入金	1,752	1,904
有価証券	14,576	14,140	その他	21,066	19,435
商品及び製品	22,054	21,757	固定負債	14,958	13,922
仕掛品	6,667	5,817	長期借入金	2,031	2,791
原材料及び貯蔵品	9,679	10,405	繰延税金負債	3,649	1,089
繰延税金資産	5,302	5,042	その他	9,278	10,042
その他	7,227	7,497	<b>負債合計</b>	<b>51,763</b>	<b>51,873</b>
貸倒引当金	△625	△717	<b>純資産の部</b>		
固定資産	95,546	88,011	株主資本	164,880	162,609
有形固定資産	37,814	36,776	資本金	19,556	19,556
建物及び構築物(純額)	17,934	17,802	資本剰余金	28,371	28,371
機械装置及び運搬具(純額)	3,788	3,745	利益剰余金	129,186	126,912
土地	9,140	9,057	自己株式	△12,233	△12,231
その他	6,951	6,169	その他の包括利益累計額	18,145	11,019
無形固定資産	3,286	2,863	その他有価証券評価差額金	19,159	14,666
投資その他の資産	54,445	48,371	繰延ヘッジ損益	5	△23
投資有価証券	51,159	45,384	為替換算調整勘定	△1,019	△3,623
その他	3,286	2,986	少数株主持分	3,250	3,155
<b>資産合計</b>	<b>238,040</b>	<b>228,657</b>	<b>純資産合計</b>	<b>186,276</b>	<b>176,784</b>
			負債純資産合計	238,040	228,657

**総資産**は、2,380億4千万円となり、前期末に比べ93億8千2百万円増加しました。主な増加要因は、商量増加による「仕掛品」の増加、含み益による「投資有価証券」の評価額の増加です。

**純資産**は、1,862億7千6百万円となり、前期末に比べ94億9千1百万円増加いたしました。主な増加要因は、保有投資有価証券の含み益の増加による「その他有価証券評価差額金」の増加および円安による「為替換算調整勘定」の増加です。

**負債**は、517億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9百万円減少しました。主な増加要因は、株式市況が回復したことで「投資有価証券」の評価益の税金部分である「繰延税金負債」が増加したことによるもので、主な減少要因は、前期末日が金融機関の休日のため支払が当第2四半期連結累計期間となったこと等による「支払手形及び買掛金」の減少、銀行借入の返済による「短期借入金」および「長期借入金」の減少です。

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第51期第2四半期 (2013.4.1~2013.9.30)	第50期第2四半期 (2012.4.1~2012.9.30)
売上高	75,754	71,314
売上原価	49,107	47,984
売上総利益	26,646	23,329
販売費及び一般管理費	20,800	19,492
営業利益	5,845	3,837
営業外収益	2,134	861
営業外費用	216	1,494
経常利益	7,763	3,203
特別利益	358	17
特別損失	1,054	397
税金等調整前四半期純利益	7,067	2,824
法人税、住民税及び事業税	2,440	1,655
法人税等調整額	△497	△101
法人税等合計	1,943	1,553
少数株主損益調整前四半期純利益	5,124	1,270
少数株主利益	△34	△32
四半期純利益	5,158	1,303

売上高は、装置事業、光源事業の両事業の好調を背景に前年同期比6.2%増の757億5千4百万円となりました。

営業利益は、生産性の向上、製造コストの低減、経費の圧縮など、全グループの努力の結果、前年同期比52.3%増の58億4千5百万円、と大幅に増加し、営業利益率も前年同期5.3%から7.7%へ改善しました。

経常利益は、営業利益の増加以外に営業外費用の大幅減少が要因となり、前年同期比142.3%増の77億6千3百万円となりました。

四半期純利益は前年同期比295.9%増の51億5千8百万円となりました。

## 包括利益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第51期第2四半期 (2013.4.1~2013.9.30)	第50期第2四半期 (2012.4.1~2012.9.30)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,124	1,270
その他の包括利益	7,237	△5,007
その他有価証券評価差額金	4,492	△2,238
繰延ヘッジ損益	28	-
為替換算調整勘定	1,711	△2,769
持分法適用会社に対する持分相当額	3	-
その他の包括利益合計	7,232	△5,007
四半期包括利益	12,361	△3,736

営業活動によるキャッシュ・フローは、51億4千1百万円の収入となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上70億6千7百万円、減価償却費の発生23億9千4百万円、売上債権の減少6億7千6百万円、たな卸資産の減少8億2千2百万円による収入があった一方で、仕入債務の減少29億6千9百万円、および法人税等の支払26億7千6百万円の支出によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億7千万円の収入となりました。主な要因は、定期預金の払戻80億3千1百万円、有価証券の売却および償還16億5千9百万円、投資有価証券の売却および償還9億8千1百万円による収入と、定期預金の預入58億8千6百万円、有価証券の取得5億5千6百万円、有形固定資産の取得23億9千3百万円、および投資有価証券の取得15億2千万円の支出によるものです。

## キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	第51期第2四半期 (2013.4.1~2013.9.30)	第50期第2四半期 (2012.4.1~2012.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,141	7,893
投資活動によるキャッシュ・フロー	570	△8,387
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,701	△6,540
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,114	△1,084
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,125	△8,119
現金及び現金同等物の期首残高	43,261	41,585
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,387	33,465

財務活動によるキャッシュ・フローは、47億1百万円の支出となりました。主な要因は、長期借入れ7億5千万円による収入と、短期借入金の減少6億5千2百万円、長期借入金の返済18億8千8百万円、配当金の支払28億8千2百万円の支出によるものです。

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株式の状況 (2013年9月30日現在)

発行済株式総数 ..... 139,628,721株

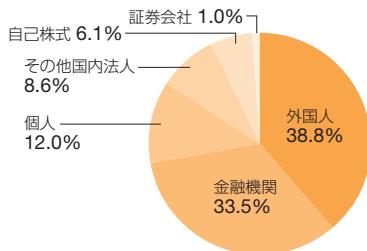
株主 ..... 14,157名

## 大株主の状況 (200万株以上)

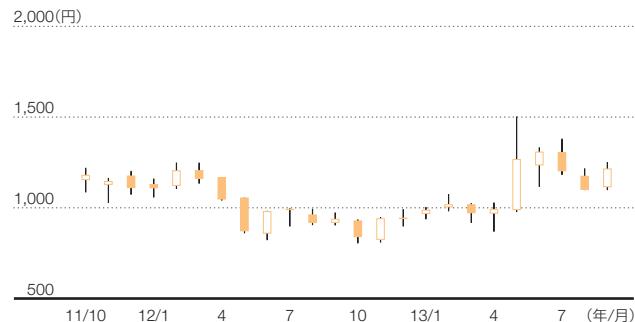
株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,553	6.12
オーエム04 エスエスピー クライアント オムニバス	4,892	3.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,248	3.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,194	3.00
ジェービー モルガン チェース バンク 385174	4,070	2.91
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	3,964	2.83
RBC IST LONDON-LENDING ACCOUNT	3,875	2.77
株式会社りそな銀行	3,616	2.58
朝日生命保険相互会社	3,325	2.38
牛尾治朗	3,201	2.29
ノーザントラスト カンパニー (エイブイエフシー)		
サブ アカウント プリティッシュ クライアント	3,029	2.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社りそな銀行退職給付信託口)	2,924	2.09
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー	2,683	1.92
ゴールドマン サックス インターナショナル	2,623	1.87
ノーザントラスト カンパニー (エイブイエフシー)		
サブ アカウント アメリカン クライアント	2,458	1.76
公益財団法人ウシオ財団	2,400	1.71
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,126	1.52

※上記のほか、当社が所有している自己株式8,503千株があります。  
 ※大株主上位に記載されている各信託銀行は、主に国内機関投資家が保有する有価証券の管理事務を行っており、当該機関投資家の株式名義人となっているものです。また信託口とは、当該機関投資家から年金信託、投資信託、特定金銭信託等の信託を受けている口座を指します。

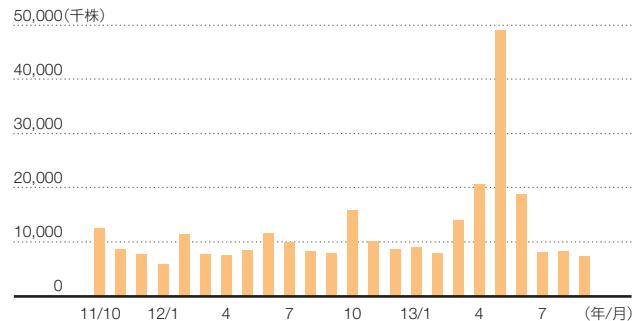
## 株式の分布状況



## 株価の動き



## 株式売買高



# 会社概要

**設立** 1964年3月  
**資本金** 19,556,326,316円

## 役員 (2013年9月30日現在)

代表取締役会長	牛尾 治朗
代表取締役社長	菅田 史朗
取締役	多木 正
取締役	浜島 健爾
取締役	徳廣 慶三
取締役	牛尾 志朗
取締役	多田龍太郎
取締役	伴野 裕明
取締役	田中 米太
取締役	小林 敦之
取締役(社外)	中前 忠
常勤監査役	神崎伸一郎
常勤監査役	大島 誠司
監査役(社外)	服部 秀一
監査役(社外)	宮崎 靖亮
監査役(社外)	塩畑 一男

## 従業員数 (2013年9月30日現在)

ウシオ電機本体	1,799名
国内グループ計	611名
海外グループ計	3,162名
合計	5,572名

## グループ会社 (2013年9月30日現在)

### ウシオ電機株式会社

本社	東京都千代田区
播磨事業所	兵庫県姫路市
御殿場事業所	静岡県御殿場市
横浜事業所	神奈川県横浜市
東京営業本部	東京都千代田区
大阪支店	大阪府大阪市

### 国内グループ会社

ウシオライティング株式会社	
株式会社ジーベックス	
日本電子技術株式会社	
株式会社エピテックス	
株式会社アドテックエンジニアリング	他5社

### 海外グループ会社

#### 北米

- USHIO AMERICA, INC.
- USHIO CANADA, INC.
- CHRISTIE DIGITAL SYSTEMS USA, INC.
- CHRISTIE DIGITAL SYSTEMS CANADA INC.
- CHRISTIE MEDICAL HOLDINGS, INC.
- NECSEL INTELLECTUAL PROPERTY, INC.
- Vista Controls Systems, Corp.

#### 欧州

- USHIO EUROPE B.V.
- USHIO FRANCE S.A.R.L.
- USHIO DEUTSCHLAND GmbH
- USHIO U.K., LTD.
- BLV Licht-und Vakuumtechnik GmbH
- NATRIUM Sp. zo.o.

#### アジア

- USHIO HONG KONG LTD.
- USHIO TAIWAN, INC.
- USHIO PHILIPPINES, INC.
- USHIO (SUZHOU) CO., LTD.
- USHIO ASIA PACIFIC PTE. LTD.
- USHIO KOREA, INC.
- USHIO SHANGHAI, INC.
- USHIO SHENZHEN, INC.

他24社

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。
利益配当金受領	3月31日
株主確定日	なお、中間配当制度は採用しておりません。
公告掲載URL	http://www.ushio.co.jp/kokoku ※やむを得ない事由により上記URLにおいて公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
1単元の株式数	100株
株式銘柄コード	6925
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 <b>0120-782-031(フリーダイヤル)</b> 取次事務は、三井住友信託銀行の本店および全国各支店で 行なっております。

### 住所変更、単元未満株式の買取などのお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行なう際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社などで行ないます。確定申告を行なう際の添付資料につきましては、お取引のある証券会社などにご確認をお願いいたします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましては、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をされる株主さまは、大切に保管ください。



2014年4月1日、ウシオ電機は**50周年**を迎えます。

50周年記念サイト公開中

<http://www.ushio.co.jp/50th>

ウシオ 50周年

検索

スマホはコチラから



発行：ウシオ電機株式会社 広報IR室

〒100-8150 東京都千代田区大手町2-6-1

TEL: 03-3242-1815 FAX: 03-3245-0589

<http://www.ushio.co.jp>



この印刷物は、環境に優しい用紙と、  
ベジタブルインキを使用しています。

**P・R・I・S・M** PRISM(プリズム)は透明な光学ガラスでできた多面体で、光を分散・屈折・反射させるときに用います。「PRISM」は、光を柱に事業を展開するウシオの今と未来を多面的に取り上げ、株主や投資家の皆さまにお伝える情報誌です。ウシオISMをPRし、理解を深めていただく編集意図もこめて、名づけました。